

しゅん
旬・直・便り
ちよく
だよ



い
ず
ば
ん
星

2016年12月9日

第33号

発行：一般社団法人
いちばん星南相馬プロジェクト

stars@ichibanboshi-minamisoma.orz

ふれあい体験感謝祭

藍染製品などの展示即売・ワークショップ開催される



藍染製品などの展示即売の様子＝鹿島区・体験工房「赤い屋根」11月26日

11月23日(水)～27日(日)南相馬市鹿島区江垂にある体験工房「赤い屋根」において、藍染製品の展示即売や綿製品加工のワークショップなどの「ふれあい体験感謝祭」が開催されました。

以前の「旬・直・便り」で紹介させていただきました農家民宿のメンバーが古民家を借りて立ち上げた工房「赤い屋根」で、藍染製品や民芸・工芸品、パッチワーク、盆栽、野菜、新地産リンゴなどの展示即売と手作りケーキカフェの販売などを行ったものです。

24日は生憎の雨模様でしたが、多くのお客様がご越しくださり、綿の実を糸に加工したり、ブローチや糸玉づくりにチャレンジしました。

お客様にお話を伺うと「たくさん素晴らしい藍染の作品が並んでいて、非売品となっていたものもあつたが是非、機会があれば購入したい」「今後はペンカチやインシャツなどを自分でも染めてみたい」とおっしゃっておりました。今後は体験希望日の10日前までにご予約をいただければ、藍染体験や、四季折々の素材を活かした海・山・里の郷土料理づくり、乗馬体験や法螺貝の吹そうが体験できます。

○ お問合せ先 農家民宿 森のまやにて

TEL 0244-4146-30613

里山整備構想 蔵の移動完了

【 里山の縁側事業、進行状況 】



蔵の曳家の様子＝11月9日

「里山整備構想」(縁側的なカフェ・土産品売場貸ホール等)の建設は着々と進んでいます。移築先の基礎部分の工事(生コン打設)が完了し、曳家作業に入り、北向きの玄関を東向きに90度向きを交換して無事に曳家することができました。蔵をそのまま移動してしまう曳家の技術を目の当たりにして、日本の技術の高さを改めて感じる事ができました。今後も「縁側事業」の工事が完了するまで、進捗状況をお伝えしていきます。乞うご期待を！

今月の武蔵野会

いちばん星農園の花壇づくり



武蔵野会のみなさんによる「花壇づくりの様子」＝10月22日

今回は、いちばん星農園の花壇づくりを行っていただきました。今後、様々な花・藍などを植栽する予定です。作業当日は生憎の雨模様となってしまいましたが、みなさんに一生懸命に汗を流して作業していただき、素晴らしい花壇をつくることができました。道路側の花壇には、チューリップの球根を植付し、春先には、きれいな花を咲かせてくれると思います。武蔵野会の皆様には心から感謝いたします。

… 月いちカフェ・11月

群馬県・桐生市 …

南相馬市の新鮮野菜と地元産品の様子＝桐生市レンタルホールれんが蔵



毎月1回、第3土曜日に群馬県桐生市の「レンタルホールれんが蔵」で開催されている「月いちカフェ」に11月も参加させていただきました。

東日本大震災以降、継続的に南相馬市、そして、当プロジェクトを支援してくださっている桐生市在住の浅野宗一郎氏の声掛けで、平成26年5月から、ほぼ毎月参加させていただいておりましたが、会場の都合から、本年12月をもって、このイベントに幕がおろされることとなります。

主催者の方々は、定着したこのイベントを今後どうするか模索中とのことですが、当プロジェクトとしては、これが一つの区切りかなとも考えています。最後となる12月、精一杯、頑張ります！

… 今月の南相馬情報 …

南相馬市小高区沿岸部 12月2日撮影



こちらでは南相馬のイベントや気になった情報などを取り上げてご紹介させていただきます。今回は南相馬市のfacebookページ記事よりご紹介させていただきます。写真は、復旧・復興の工事が進む小高区沿岸部に飛来した白鳥の様子。

数十羽の群れのオオハクチョウとコハクチョウが、ぬかるんだ水田跡で植物の葉や種などを食べていました。周辺では白鳥のほかにも、カモ類などの冬の渡り鳥を見ました。市博物館の担当者によると、市内では例年3月末ごろまで冬鳥の観察ができるそうです。暖かい陽気の日には、こうした豊かな自然に触れる過ごし方も気持ちいいですね。

南相馬facebookページ：<https://www.facebook.com/MinamisomaCity/>

節目の一年

理事長 星 謙

あっという間に一年が過ぎてしまおうとしています。東日本大震災から5年の時が過ぎ、南相馬市を取り巻く環境が大きく変遷し、住民の方々も、5年を一つの区切りとして、それぞれに今後の生き方を決めた方が大半だと感じております。この時にあたり、当プロジェクトも設立からあと3ヶ月で5年を迎えようとしており、新たな事業展開として、里山整備構想に着手したところですが、これが事業展開については、いちばん星株式会社を設立し、地元の雇用拡大と地元住民、そして、県内外のみなさんが懸念する里山づくりを目指しています。「農家民宿いちばん星」も、大震災当時の客層から、新たな客層に変化しており、容易でない状況にありますが、プロジェクトも新たな株式会社も、それぞれに自立できる経営としていくことが、私の使命と考えております。「旬・直・便り」も、2014年3月の第1号から、今回の発行で33号を迎えることができました。これも偶に、みなさま方の温かいご支援の賜物と厚く御礼申し上げます。終わりになりますが、皆様方の今後益々のご活躍をご祈念し、本年一年の御礼といたします。

編集後記

日を追うごとに師走の慌たたしさを感じることが多くなりました。この一年を振り返りますと、いちばん星プロジェクトの開催やその他のイベントへの参加にあたり、関係者の皆様のご協力のおかげで、盛況裏に終ったことになりました。宿泊の面で県内外から多くのお客様にお越しいただいた事、ボランティア活動に来て下さった事に厚く御礼申し上げます。明年は、里山整備構想の切り口となるカフェとお土産売り場、貸し泊の「お宿」を控えており、新たなステップへの挑戦となります。お客様にご満足いただけるよう、新たなステップを「おもてなし」の心を大事に、頑張りたいと思っております。いつも「旬直」のお便りをご利用くださり、ありがとうございます。来年も愛情を込めてお届けいたしますので引き続きご愛顧いただけますようお願い申し上げます。時節柄、多忙な日々をお過ごしのことと存じますが、くれぐれもお体に気をつけて、よいお年をお迎えください。

スタッフ 高田文佑

今月の「旬・直・おすすめ便り」
12月9日(金) 発送

1. 中玉トマト	8. しいたけ
2. 人参	9. 切り餅
3. 芋がら	10. 桑のお茶
4. 里芋	
5. ちぢみ菜	
6. ほうれん草	計. 10 品目
7. 春菊	

— 今月の花 —

… 「南天」 …

… 花言葉 …

福をなす

